

令和5年度 第1回栗東自然観察の森運営委員会会議録

◎日 時 令和5年 8月 4日 (金) 13:30～15:00

◎場 所 栗東自然観察の森ネイチャーセンター研修室

◎出席者

〔運営委員〕 朽木委員、横井委員、岩井委員、伊勢村委員、竹畷委員、飯村委員
西委員、林委員

〔欠席委員〕 村上委員、辻田委員

〔事務局〕 小林教育部長、赤井所長、松田副所長、北野観察指導員、
出口観察指導員

1. 開会 司会進行・・・赤井所長

2. 市民憲章唱和

(所 長) それでは、栗東自然観察の森運営委員会の公開につきましては、「栗東市附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき、会議を公開することについては、令和5年2月25日開催の令和4年度、第2回運営委員会におきましてご承認いただいておりますことから、本日も公開することとし、傍聴者の定員については、当会場の規模から5人とさせていただきます。

もう1点、会議録の公開についてですが、会議結果公表のため会議録を作成し、会議資料を公開するということが定められております。そのために、おおよそ会議開催後、一ヶ月以内に会議録を作成し、公開させていただきます。公開に際しましては、発言者氏名の公表は控えるなど、内容に十分配慮したものとさせていただきます。資料についても公開してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

傍聴の希望ですが、本日は、傍聴の希望はございませんでした。

(委員の交代について紹介)

令和4年度、栗東市小中学校校長会代表として、治田東小学校校長の川那部隆徳様に委員をお願いしておりましたが、今回交代されることになり、後任の横井久美香様に委員をお願いすることになりました。同じく、栗東市安養寺地域自治会代表と言うことで、安養寺東自治会長の坂根裕弥様に委員をお願いしておりましたが、今回自治会長を交代されることになり、後任の自治会長 竹畷 守 様に委員をお願いすることになりました。横井委員、竹畷委員よろしく申し上げます。

なお、委嘱状の交付につきましては、委嘱状を委員のお席に置かせて

いただく机上交付とさせていただいており、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

それでは開会にあたりまして、伊勢村会長よりご挨拶をお願いします。

3. あいさつ 伊勢村会長挨拶

(各委員及び事務局 全員自己紹介)

(所 長) (会議にかかる委員出欠状況報告)

本日の会議出席者は8名です。当運営委員会規則第5条第2項「議事は出席委員の過半数を持って決し、可否同数のときは会長の決するところによる」となっております。村上委員、辻田委員につきましては事前に欠席する旨の連絡をいただいておりますことを報告します。

これより運営委員会規則第5条により会長が議事進行

4. 協議事項

- (1) 令和4年度 事業報告について
- (2) 令和5年度 事業計画について

(議 長) それでは、(1) 令和4年度事業報告について事務局の説明をお願いします。

(事務局) 資料P.1～P.4にもとづき説明。(来園者実績、イベント実施実績)

(議 長) これより質疑にはいります。

(議 長) 質問や意見はありませんか。ないようですので、協議事項(1)について了承いただいたものとして、次に移らせていただきます。

それでは、協議事項(2)の令和5年度事業計画について事務局説明をお願いします。

(事務局) 協議事項(2) 令和5年度事業計画について(資料P.5～P.9説明)

(議 長) これより質疑にはいります。

(委員) 森の秋まつりが10月15日(日曜日)に開催される予定となっているが、治田東学区民の運動会もその日です。日が重なるのは仕方ないですね。

(事務局) 例年、森の秋まつりは10月中旬の日曜日に実施しています。他団体のイベント情報収集をこころがけていますが、秋の行楽シーズンのイベントなので日が重なるのは仕方ないかと思えます。

(委員) 自然観察の森での一つひとつ小さいイベントに関して、例えば学校の掲示板や保護者会などへの広報はできていますか。

P7の「1 各種イベントの実施」にあるこれらのイベントPRについては、P8の「4 森のPR活動」で広報りっとうやインターネット、公共施設でのポスター掲示でしているのはわかります。お聞きしたいのは、直接、小学校にイベント参加の働きかけをしていますか。

(事務局) 毎月、イベント案内ポスターはコミセンや駅などに掲示していますが、小学校にはしておりません。校外学習で来園された学校については、その体験学習の様子を示した「りすじろう通信」を送っています。

頂きましたご意見「学校の掲示板にイベントチラシで紹介すること」は検討します。

(委員) ちょっと確認ですが、令和4年度事業報告にありました来園者年齢層別の小学欄の数字2,548人は、観察会などのイベントに参加した小学生、校外学習できた小学生、保護者などときた小学生とすべてが含まれているのですね。

(事務局) そうです。資料P3で来園者の目的別に明示しています。イベント欄は、観察会やミニクラフト、JVR養成講座など森のイベントへの参加者です。団体・研修欄は、校外学習や地域の子ども会活動などです。一般欄は、それ以外で例えば、保護者や友達との散策です。

団体・研修の区分で、令和4年度に小学校から来園された団体数は21団体で延べ1,591人でした。

(議長) 小学校では、隣接している治田東小学校からの利用が多いのですか。

(事務局) 治田東小学校からは、隣接のメリットを生かして数多くご利用いただいております。

(委員) 治田東小学校では、立地条件が良く、3年生の理科の学習で4月には数日おきにタケノコの観察を行いました。また、大宝東小学校のときは生活科の授業でバスを借りて来園しました。数年前の市のバスを運行されていたときは移動もし易かったです。今後においては、もっと気軽に活動できればいいなあと思います。

(議長) 他にありませんか。

(委員) 資料P6の安心・安全な森の管理運営と整備について伺います。

開園から30年以上が経過し施設の老朽化が目立ちます。また、いつも私が言っていることですが、治田東小学校の裏のコースが以前から通行止めにしてあります。そこはバラエティーに富んだコースなのでそのまま放置しておくのはもったいない。もっと建物や散策コースの整備に力を入れて欲しいと思いますが、事務局はどのようにお考えですか。

(事務局) 平成29年度以降、木道が腐食したため改修工事を行っておりますが、ネイチャーセンター棟を含めた施設老朽化に関する整備費については、いっきに掛けてしまうと莫大な予算となりますので、市全体の予算の中から少しずつではあるが、予算措置し整備を進めているところです。本市の財政は依然として厳しい状況にありますとともに、市の各施設が老朽化していることも大きな課題となっていることもあり、なかなか思うような予算確保は難しいが、今後については教育委員会としても必要な予算は確保するように担当課をはじめ教育委員会としてもしっかりと財政当局に伝えていきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひします。

(委員) 財政厳しい状況は理解しているが、頑張っで予算確保をしていただきバラエティーに富んだコース整備をして通行止めの解除をお願いします。

(議長) 事務局には予算確保に頑張ってもらいたいと思ひます。よろしくお願ひします。他に質問や意見はありませんか。ないようなので、私から質問します。

今年度の各種イベント実施計画で前年度と変わったところを教えてください。

(事務局) 自然観察会は年間24回から12回に減ります。親子観察会は年間

15回から22回に増えます。ミニクラフトは年間10回で変わりません。自然だいきコースは森の秋まつりを含み年間4回から7回に増えます。JVR養成講座は年間8回で変わりません。

(委員) 私たちNVR友の会は、メンバーの高齢化と減少でこれまでのようなイベントの実施が難しくなると判断しました。

それで、自然観察の森と協議のなかで自然観察会はできないが、その代わりに自然だいきコースを増やすことにしました。

コロナ禍以前は県のレイカディア大学に行って募集したこともありましたが、現在はそうした宣伝はできていない。そこで、一つお願いしたいのが、なんとかNVR友の会の会員を増やすための宣伝に協力いただけないかと思っています。

(事務局) NVR友の会の皆様にはイベント実施に協力していただきありがとうございます。

(議長) 他にありませんか。質問や意見もないようですので、協議事項(2)について了承いただけたものとして処理させていただきます。

5. 報告事項

(議長) それでは、次第5の報告事項 令和5年度 第1四半期来園者数及びイベント実施状況について事務局説明をお願いします。

(事務局) 報告事項 令和5年度第1四半期来園者数及びイベント実施状況について説明します。(資料P10～P14説明)

(議長) ただいまの説明内容についてご質問や意見等ありましたらお願いします。

(委員) 最近、JVR養成講座のサポーターとして参加していると、今日の小学生は知識が豊富で、優れた子どもが多いように感じています。そこで、現在滋賀県で開催されている宝探しイベントの冊子の完成度や多くの子どもが参加されている現状を聞いて思うことは、夏休みのシーズンを含めて子どもたちの意欲をかき立てるイベントとか工作や自由研究に関わる体験ができないかということです。

現在、工作等に参加されている受講生は低学年が多いので、講座の内容のレベルアップではなく、NVR友の会とJVR養成講座の間の目的

を持った組織や活動を工夫することによって運営基本方針にある「人と自然の共生」「循環型社会」をキーワードとした科学の観点からより魅力的な活動になると思います。

参考までに、滋賀県立近江富士花緑公園で「近江富士ネイチャースクール」という講座を開催されるようですので情報提供しておきます。

(委員) この時期は、夏休みの自由研究になる素材の提供やイベント開催など面白いことができると思います。花緑公園ではいろんな情報提供をされているようなので参考にしたらいいと思います。

(委員) 素材として、セミの抜け殻を置くだけでもいいと思います。よく観察するとセミの種類や雌雄がわかるので自由研究につながります。

(事務局) 参考にしたいと思います。

(委員) 滋賀県において、自然観察の森の宣伝をしてもらいたいと思っています。というのは、「やまのご事業」や「うみのご事業」は滋賀県が主体となり県下市町で実施されているが、「やまのご事業」で言えば、近江富士花緑公園「林業普及センター」で4年生の新任先生に滋賀県が森林学習の研修をされています。

このことから、この自然観察の森においても、自然学習や環境学習が学ぶことができるようアピールして、人の補充のことも含めて県の力をお借りすることはできないのかと思います。

(事務局) 委員からの意見で、滋賀県との連携については、過日県が森林公園を所有する各市の施設調査を実施されまして、今後の展開は未定ではありますが、趣旨は、県下の施設全体のPRを将来的には考えていくことで、市としては自然観察の森が対象となるので調査に協力したところです。頂きましたご意見はごもっともでありますので、関係機関から働きかけがあれば積極的に検討やPRはしていきたいと思います。委員の皆様からも自然観察の森に関わる良い話があれば情報提供をお願いしたいと思いますので、よろしく願います。

(委員) 全国に10か所ある自然観察の森の一つなのでもっと、滋賀県の力添えがあればと思います。

(議長) 今日は、辻田委員が欠席されているのでご意見をお聞きできません。

(事務局) 全国に自然観察の森が全国に10か所あることを滋賀県の担当者をご存じなかった。当施設のPR不足もあると思いますが、当施設の強みを生かす中でPRしていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

(議長) 他にありませんか。ご意見などもないようですので、令和5年度第1四半期来園者数及びイベント実施状況についての報告事項は以上とさせていただきます。他に報告事項があれば事務局お願いします。

(事務局) 5件を報告

①にじいろレイク探検隊2023の会場の一つになっていること。

②駐車場の一部をなごやかセンター職員が使用していること

③栗東自然観察の森アンケート2023を実施し集計中であること。

④広報りっとう7月号輝く栗東人コーナーで、NVR友の会が掲載されたこと。

⑤湖南4市に配布されている地域密着型無料タウン情報誌「湖南フリーモ」に掲載された自然観察の森に関する記事のこと。

6. その他

(議長) 次第6 その他 事務局から連絡事項がありましたらお願いします。

(事務局) 1点目は報酬の支払いについて。後日、口座に振り込みます。2点目は次回の委員会の日程について。今回は、年明けの2月から3月頃を予定しています。開催が近づきましたら案内します。
以上です。

(議長) ありがとうございます。以上で協議事項・報告事項・その他を終了しました。

議事の進行について委員皆様に協力いただきありがとうございました。
それでは、進行を事務局にお返します。

(所長) 会長、進行ありがとうございました。

次第7の閉会につきましては飯村副会長よりご挨拶をお願いします。

7. 閉会

飯村副会長閉会の挨拶